

1. 令和7年度以降の保育需要と提供体制

作成対象:全市区町村

保育提供区域	全域	←プルダウン選択してください。複数区域を選択した場合は、様式1-2のシートをつけて提出してください。
保育提供区域の設定の考え方	教育・保育施設の設置が町中央部に50%程度となっている状況であること、区域内での量の見込み・調整が可能であること、施設の充足率の偏りが比較的解消されること等の理由から、1区域として設定する。	

	年齢	令和7年4月1日	令和8年4月1日	令和9年4月1日	令和10年4月1日	令和11年4月1日
		実績	見込み・計画数	見込み・計画数	見込み・計画数	見込み・計画数
就学前児童数 ①	0歳児	155.	134.	132.	130.	128.
	1・2歳児	283.	290.	306.	304.	300.
	3歳以上児	559.	543.	510.	479.	480.
	合計	997.	967.	948.	913.	908.
2歳未満保育者数 ②	0歳児	49.	64.	71.	70.	69.
	1・2歳児	210.	204.	215.	213.	210.
	3歳以上児	407.	383.	360.	338.	339.
	合計	666.	651.	646.	621.	618.
2歳未満保育率 ②/①	0歳児	31.6%	47.8%	53.8%	53.8%	53.9%
	1・2歳児	74.2%	70.3%	70.3%	70.1%	70.0%
	3歳以上児	72.8%	70.5%	70.6%	70.6%	70.6%
	合計	66.8%	67.3%	68.1%	68.0%	68.1%
利用定員数 (整備)	0歳児	77.	74.	74.	74.	74.
	1・2歳児	259.	246.	245.	245.	245.
	3歳以上児	502.	466.	484.	484.	484.
	合計	838.	786.	803.	803.	803.
待機児童数	0歳児	0.	0.			
	1・2歳児	0.	0.			
	3歳以上児	0.	0.			
	合計	0.	0.			

【申込者数(保育ニーズ)算定の考え方】

作成対象:全市区町村

- 毎年度、前年度までの見込みと実績を比較し、乖離が生じている場合には、その要因を精査・分析し、必要に応じて推計方法の見直しを行うこと。
- 各市区町村の実情に応じた適切な方法に基づき、算定すること。

申込者数（保育ニーズ）の算定式		算定式に用いた要素の推計方法	
算定式	(算定式の例) 就学前児童数 × 申込率	〔文例〕 ○就学前児童数 ・令和○年○月時点の人口推計を使用 ・過去○年の就学前児童数の増加・減少率の平均を使用 ○申込率 ・令和○年○月に実施したニーズ調査により見込んだ申込率を使用 ・過去○年の申込率の増加・減少率の平均を使用	
	0歳児	・就学前児童数 × 申込率 など	就学前児童数 子ども計画の数値 申込率 過去3年の平均申込率
	1・2歳児	・就学前児童数 × 申込率 など	就学前児童数 子ども計画の数値 申込率 過去3年の平均申込率
	3歳以上児	・就学前児童数 × 申込率 など	就学前児童数 子ども計画の数値 申込率 過去3年の平均申込率
加味する要素	要素の有無	有り（上記の他に加味する要素がある）	←プルダウン選択してください。
	要素の説明	0歳児の申込率については、子ども計画における「量の見込」の算出等の考え方にに基づき、育児休業の取得状況の実態等を踏まえ、よりニーズの実態に近いものとなるよう人数を見込んでいます。	

2. 期間中における整備内容及び定員増減の予定

作成対象:全市区町村

- 「1. 令和7年度以降の保育需要と提供体制の利用定員数（整備量）」にて計画した整備内容及び定員増減の予定を以下に記載すること。※過年度（令和7年度）のみの整備内容は記入不要。
- 令和8年度の就学前教育・保育施設等整備交付金の協議や保育所等改修費等支援事業の交付申請にあたっては、以下に記載する整備・改修予定の施設と整合をとること（実施計画の採択が不要かつ定員の増減が生じない整備等は記載不要とする）。

<集計表（自動転記）>

以下の①及び②で記載した詳細について、0歳児、1・2歳児、3歳以上児における令和8年度以降の定員増加を図る施設及び定員減少を図る施設の内訳を記入すること。
「1. 令和7年度以降の保育需要と提供体制」における利用定員数の前年度比と「2. 期間中における整備内容及び定員増減の予定」における各年度の「定員増減数（差引合計）」は一致させること（詳細は印刷範囲外右記の留意事項を参照）。

	定員増加を図る施設	定員減少を図る施設	定員増減数 (差引合計)	検査用 (「1. 令和7年度以降の保育需要と提供体制」の利用定員数(整備量)の前年度比)	エラーチェック (※右記において、エラーが生じた場合は、必ず右記の留意事項等に確認いただき、エラーが生じていない状態を確認してください。)
令和7年度					
令和8年度	18.0	-1.0	17.0	17.0	○
0歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
1・2歳児	0.0	-1.0	-1.0	-1.0	○
3歳以上児	18.0	0.0	18.0	18.0	○
令和9年度	0.0	0.0	0.0	0.0	○
0歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
1・2歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
3歳以上児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
令和10年度	0.0	0.0	0.0	0.0	○
0歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
1・2歳児	0.0	0.0	0.0	0.0	○
3歳以上児	0.0	0.0	0.0	0.0	○